



東北の声を国政に届け17年間

高橋ちづ子

日本共産党

東北2議席でパワーアップ 比例は日本共産党へ

いつも頼りになる「東北の命綱」

—東日本大震災と原発事故、毎年襲ってくる豪雨災害…。高橋議員は、いつも災害現場に真っ先に駆けつけ、被災者の声を直ちに政府に届けてきました。

— 424病院が対象となる公立病院の統廃合問題。東北にとって死活問題です。高橋議員は、東北の病院関係者の調査を踏まえ、「コロナ対応が求められるとき、病院統廃合は中止すべき」と主張しています。



福島県いわき市で、豪雨災害の被災者から聞き取り



盛岡市で、医療、労働、業者、農民などの団体から要望を聞く

東北の現場と結んで政治をうごかす



山形県上山温泉組合などから聞き取り調査



青森県の個人タクシー協会と懇談



東北の地方議員と政府交渉

コロナ禍で、医療・雇用・生業など、東北の抱える困難は深刻です。高橋議員は岩淵議員、ふなやま氏らとともに、東北6県で「要望を聞く会」に参加。自治体首長、医療関係者、商工団体、観光、運輸など幅広い方々と懇談しています。

この中で、東北三大まつりなど、中止したイベントへの支援を求め、地方の観光事業支援として100億円強の予算をつけさせるなど、一步一步要望を実現しています。

国会の野党共闘に一貫して努力

野党共闘が危機に追い込まれた2017年秋。高橋議員は、総選挙直後の国会から、野党共闘に尽力。その努力は、49法案の野党共同提案に。うち高橋議員も16本の共同提出者となり、政府の政策を前向きに動かしました。

イージス・アショアでは、現地調査や住民との懇談を重ね質問。野党の合同現地調査を実現しました。被災者生活再建支援法改正案や原発ゼロ法案など被災地の野党議員と共同提案。東北の野党共闘の前進に貢献しています。



障害3法の野党共同提案



イージス・アショアで野党合同の秋田県現地調査を実現

仙台市議14年
医療と福祉の専門家

ふなやま 由美



ふなやま氏は、医療現場で11年、仙台市議14年、豊かな活動経験をもっています。市議会で「保健所は感染症や新型インフルエンザ対策の最前線」と縮小反対の論戦をするなど、新自由主義路線と真っ向から対決。まさに、医療と福祉の専門家です。

行動力あふれる
若手政治家

藤本 友里



藤本氏は、衆参の国政選挙で候補者として活動し、秋田県の市民と野党の共闘に尽力してきました。コロナ禍で苦境にあえぐ業者の実態調査、学生アンケート、大学からの聞き取りなど、行動力とバイタリティあふれる若手政治家です。



新型コロナ対策で宮城県に6回目の申し入れ



宮城県川崎町の畜産農家から聞き取り調査



市民と野党の共闘、県民運動の先頭に立つ



秋田大学の学長らと懇談